

K.I.T. Yumekobo Formula Car Project

Monthly Report

2021.9.10 月号



† INDEX †

9月の活動内容

10月の活動内容

22model リーダー挨拶



Vol.31

9月の活動について

9月は21modelについてチーム全体で振り返り、車両が完成しなかった原因を整理するところから始まりました。車両製作や静的書類作成、チーム運営など多くの点について各メンバーの視点から感じたことや思ったことを話し合い、来年度大会に出走予定の22modelで伸ばしていくべき点、改善していくべき点を洗い出しました。

下旬から本格的に22modelとして活動が始まりました。22年度大会では前年度大会からレギュレーションが改訂されていることから、まずはチーム全体でレギュレーションの翻訳と読み合せを行い、チーム全体でマシン製作や、目標設定に必要な内容を確認、共有しました。

レギュレーションの翻訳を終え、チームはコンセプト決めに始めました。決定しました今年度のコンセプトは10月の活動報告に記載しております。

また、春に加入し新入生教育を受けてきた1年生も徐々に先輩からのパーツ引継が始まりました。しっかりと先輩の知識を吸収し、成長してほしいと期待しております。

図1は新入生へのパーツ引継の様子です。



図1 パーツ引継

10月の活動について

10月は9月から引き続き、22modelのコンセプト会議から始まりました。今年度の現役メンバーは車両が走行している様子を見たことある人が少ないこと、また各々が持つ良い車両のイメージが異なることから、決定までに非常に時間を要しました。しかし、その間話し合う機会を積極的に設け、お互いの考え、来年度大会へ向けた思いを共有し、最終的にまずは長年の目標である完走を果たすこと、そして良い成績を残すことで一致しました。そういった経緯を経て22modelのコンセプトは「軽快」で決定しました。この「軽快」には、心地よい軽やかな車両という意味が込められております。この「軽快」の実現に向けて一年間メンバー一同活動に励んでまいります。

10月中旬にはサスペンション班で縦の繋がり増強を図るため、オンラインミーティングソフトを用いて、学部1年生から大学院2年生まで参加した顔合わせ会を開催しました。途中、担当パーツごとにブレイクア

ウトルーム振り分け、より専門性の高い内容の話や設計に必要な情報を先輩方から聞く機会を設けました。それぞれいろいろな役に立つ話を聞くことができたようでよかったですと思います。
図1はコンセプト会議、図2はサスペンション班の顔合わせ会の様子です。



図1 コンセプト会議の様子



図2 サスペンション班顔合わせ会の様子

22model リーダーご挨拶



工学部 機械工学科 2年
平田 和暉
(ヒラタ カズキ)
22mode リーダー
サスペンションアーム&ジオメトリ担当

2022年度(KIT-22model)リーダーを務めることになりました平田和暉と申します。
私は「礎」を目標に活動していきたいです。

KIT-22modelを率いる私たち2年生は現地で大会を一度も体験したことがありません。
今までが通用しない未来に不安でいっぱいです。
一方で新たなチームを創造できるチャレンジングな状況に心を躍らせております。

このKIT-22modelが大会でいい結果を残せるように、そしてKIT-22modelをきっかけに今後のチームが進化していけるように全力を尽くしてまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

11月の予定

- ・パーツ設計
- ・第一回設計コンペティション

K.I.T. Yumekobo Formula Car Project Monthly Report

編集：平田 和暉

発行：金沢工業大学 夢考房フォーミュラカープロジェクト
〒921-8501
石川県野々市市扇が丘7-1
金沢工業大学 夢考房フォーミュラカープロジェクト
E-mail: kit_fmc@hotmail.com

ご意見・ご感想などございましたら上記までご連絡ください。